

2021年度 事業報告書

(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

2022年11月15日

公益財団法人 SBS 鎌田財団

目次

I. 事業	頁
法人の目的と概況	2
1. 事業活動	
1.1 研究助成事業	3
1.2 奨学支援金制度	4
1.3 次度事業予定	5
2. 情報公開	
2.1 情報掲出等	6
2.2 刊行物	7-8
II. 管理・運営	
1. 理事に関する事項	9
2. 評議員に関する事項	9
3. 監事に関する事項	9
4. 選考委員に関する事項	9
5. 会議に関する事項	10-11
6. 内閣府への届け出等に関する事項	11
7. 寄附に関する事項	11
8. その他事項	11
III. 会計報告	
1. 貸借対照表	13
2. 正味財産増減計算書	14
3. 正味財産増減計算書内訳表	15
4. 財産目録	16
5. 財務諸表に対する注記および付属明細書	17
IV. 監査報告	
1. 監査報告書	19

I. 事業

法人の目的と概況

■法人の目的

この法人は、以下に掲げる事業を通じて、わが国社会の学術および産業の振興・発展と福祉ならびに文化の向上に資することを目的とする。

- (1) 物流の振興・発展に資する学術研究に対する助成
- (2) 物流の振興・発展に資する研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催に対する助成
- (3) 学生・生徒に対する奨学金の給付
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

◇事業の趣旨(目的)

・研究助成

物流分野の振興・発展に資する学術研究に対する助成、同分野における研究集会、シンポジウム、セミナー等開催に対する助成を通じて、当分野の学術および産業の振興・発展をもって産業全体の発展と国民生活の向上に寄与することによる社会貢献を目的とする。

・奨学支援金制度

意欲と能力のある学生等が経済的理由により修学を断念することがないよう、学生本人に対して奨学金の給付を行い、教育の機会均等及び人材の育成に寄与し、教育と福祉の向上に貢献する。

■2021 年度概況

◇財団の運営状況

概ね当初の計画に従い事業が遂行できた。なお、新型コロナウイルスの影響を考慮し、奨学生懇談会は中止とした。また、2022 年度開始予定の web 申請受付システムの稼働に向けて環境整備を行った。

◇事業活動

・研究助成

6件の応募があり、2月に開催した選考委員会において定数の4件を採択した。

・奨学支援金制度

奨学支援金制度の応募数は、前年より27件多い143件に増加した。12月に開催した選考委員会で76名を採択した。

上記、各事業の助成金の支出を3月の理事会において承認した。

1. 事業活動

1.1 研究助成事業

1.1.1 助成件数と助成額

2021年度の研究助成対象は、2022年2月17日の選考委員会で採択され、2021年3月3日開催の理事会で助成金の交付が承認された。件数と金額の内訳を表1に示す。

表1. 2020年度研究助成(新規および継続)一覧

プログラム	応募件数	助成件数(件)			助成金額(千円)		
		新規	継続	合計	新規	継続	合計
物流研究助成	6	4	0	4	2,000		2,000

1.1.2 採択助成研究一覧

2021年度の研究助成における採択された研究は以下の表2に示す。

表2. 2021年度助成研究一覧

No	氏名(職位) 所属機関	研究課題	助成額 (千円)
1	秋川 卓也(准教授) 日本大学 商学部	若年女性が有する物流業界の就業イメージの調査	500
2	原田 峻平(助教) 岐阜大学 教育学部	買物弱者対策としての貨客混載の可能性の検討	500
3	麻生 敏正(助教) 東京海洋大学 学術研究院	物流施設における作業指導支援システム	500
4	村松 大陸(准教授) 電気通信大学 情報理工学研究科	物流作業の効率化に向けたパッシブ方式人体通信によるピッキングシステムの開発	500

1.1.3 研究助成金の送金

助成金の送金は以下のとおり完了した。

【送金】

2022年3月31日・4月30日 計4件 合計金額 2,000,000円

1.2 奨学支援金制度

1.2.1 採用件数と給付額

2021年度の奨学支援金制度の対象は、2021年12月17日の選考委員会で採択され、2022年3月2日開催の理事会で奨学金の給付が承認された。件数と金額の内訳を表3に示す。

表3. 2020年度奨学支援金制度(採用件数および給付額)

プログラム	応募件数	採用件数(名)	給付金額(千円) ※300/1名
奨学支援金制度	143	76	22,800

1.2.2 奨学金の送金

奨学金の送金は入学以下のとおり完了した。 ※入学証明提出順に順次送金

【送金】 2022年3月22日・31日、4月7日 計76件 合計金額 22,800,000円

1.2.2 奨学生へのアフターフォロー

1.2.2.1 奨学生懇談会

当財団では奨学生同士の交流活性を第一の目的に、毎年奨学生懇談会を開催しております。当懇談会は奨学生の資格を得た者は永年に参加することができます。奨学生たちによる世代を超えたコミュニティ形成を目指しております。

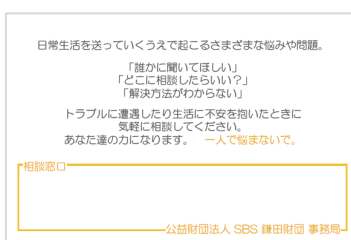
※ 前年度に続き新型コロナウイルスの影響を考慮し、残念ながら中止といたしました。



写真は2019年度奨学生懇談会の模様

1.2.2.2 何でも相談“HELP & SUPPORT”

当財団では奨学生が日常生活を送っていくうえで起こる様々な悩みや、トラブルに遭遇したり生活に不安を抱いたときに、一人で悩まずに気軽に相談できる窓口「何でも相談“HELP & SUPPORT”」を開設しています。心理カウンセラーの利用も可能です。



奨学生全員に配布されている
何でも相談窓口の連宅先が書かれたカード

1.3 2022年度事業予定

1.3.1 助成事業

物流研究ならびに物流に係るセミナー・シンポジウムの開催などへの助成(1件当たり50万円を限度とする)の募集を行う。

予定数:6件程度

1.3.1.1 日程

応募から採択における日程を以下の表4に示す。

表4. 2022年度研究助成募集日程

	2022年			2023年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集		→				
選考				→		
採択候補者の決定				▲		
受領者の確定				▲		

1.3.2 奨学支援金制度

奨学支援金制度(1名当たり30万円を一律で給付)の募集を行う。

予定数:80~85名程度 ※前年度(76名)からの採用増を予定しております。

1.3.2.1 日程

応募から採択における日程を以下の表5に示す。

表5. 2022年度奨学支援金制度募集日程

	2022年			2023年		
	7~8月	9~10月	11~12月	1~2月	3~4月	5~6月
募集要領の決定	→					
募集	→	→				
選考			→			
採択候補者の決定			▲			
受領者の確定					▲	

2. 情報公開

2.1 情報掲出等

2.1.1 ホームページ ※一部対象年度以降の情報含む

定期的なホームページの内容更新は下記表6の通りである。

表6. 2021年度ホームページ内容更新一覧

更新内容
・2021年度事業計画書
・2021年度奨学支援金制度公募開始告知
・2021年度 物流研究助成の公募開始告知
・2020年度 事業報告書および決算書類掲出
・2020年度奨学生懇談会中止告知
・2020年度 新規採択助成物流研究一覧掲出

SBS鎌田財団ホームページ(<https://www.sbs-kamatazaidan.or.jp/>)



■ 次年度における更改などの予定

・Web申請受付への変更

当財団では事業開始からこれまで、物流研究助成および奨学支援金制度の各事業において、申請受付を郵便で行ってまいりましたが、2023年度よりパソコン・スマートフォン等から申請可能な「助成WEB申請システム」の運用を開始いたします。

▶ 助成WEB申請システム
申請・提出はこちら

※イメージです。

2.1.2 案内書送付

◇2021年度研究助成

全国 国立・公立・私立大学への研究助成公募開始案内を送付。

送付数:442 送付物:公募開始案内・研究助成申請書類一式・研究助成パンフレット

◇2021年度奨学支援金制度

関東7都県の児童養護施設・行政窓口等へ奨学支援金制度公募開始案内を送付

送付数:302件 送付物:公募開始案内・申請書類一式・奨学支援金制度パンフレット

2.1.3 その他

◇SBSグループ 広報

・『[BUSINESS & CSR REPORT 2022](#)』掲載

事業概要、研究助成および奨学支援金制度採択内容

◇外部情報サービス

・[\(公財\)助成財団センター](#)

刊行物掲出:『助成団体要覧2021』『助成財団 助成金応募ガイド2021』

ウェブ掲出:「助成団体ポータルサイト“助成情報 navi”」

2.2 制作・刊行物

◇成果報告書発行

「2019年度 物流研究助成 成果報告書」は新型コロナウイルスの影響で一部遅れが生じた助成研究があったため、研究期間延長などを講じた影響で製作が遅れております。今後もこのような状況が発生することが予測されますが、成果が提出され次第制作・発行してまいりますので、ご容赦の程宜しくお願い申し上げます。



※左記イメージは18年度版です。

◇パンフレット内容変更

- ・事業所移転に伴う、記載住所および連絡先の変更を行いました。



- ・物流研究助成パンフレットにおいて以下の内容変更を行いました。

①「公募にあたって」

私たちの社会は、地球規模の感染症の流行、気候変動と災害激甚化、紛争などによる国際経済の不確実性増大などに直面し、深刻な影響を受ける一方、労働力不足の深刻化、DX化、環境問題とSDGsなど、様々な課題が顕在しています。このような状況の中、物流の果たす社会インフラとしての役割はますます重要性を増しています。

当研究助成は、これからの持続可能な社会構築における「物流」の研究を広く募集してまいります。

②「助成となる対象の研究活動について」の「テーマ一例」

- 効率的で持続可能な物流システムの構築に関連するもの
- 持続可能な物流ネットワークの構築に関連するもの
- 労働環境整備・安定輸送・新たな労働力の確保など構造改革に関連するもの
- その他、これからの持続可能な社会構築における「物流」全般

II. 管理・運営

1. 理事に関する事項

- ・任期満了に伴う重任(※代表理事再任)

鎌田 正彦 SBSホールディングス株式会社 代表取締役社長 ※
岸野 一夫 株式会社未来塾 代表取締役
尼野 正一 税理士法人誠和コンサルティング 代表社員執行役社長

<決議> 2021/9/27 定時評議員会(理事選任)
2021/9/27 臨時理事会(代表理事選任)
<登記> 2021/10/7 役員変更登記(東京法務局)

2. 評議員に関する事項

- ・任期満了に伴う重任

申田 裕治 株式会社ドルフィンKOTO 代表取締役社長
時田 宗明 株式会社経済界倶楽部 代表取締役
鈴木 知幸 東京丸の内法律事務所 弁護士

<決議> 2021/9/27 定時評議員会
<登記> 2021/10/7 役員変更登記(東京法務局)

3. 監事に関する事項

- ・任期満了に伴う重任

藤浦 宏史 株式会社アガットコンサルティング 代表取締役 公認会計士
<決議> 2021/9/27 定時評議員会
<登記> 2021/10/7 役員変更登記(東京法務局)

4. 選考委員に関する事項

選考委員に関する特記事項ありませんでした。

<現任> 轟岡 征人 SBSロジコム株式会社 取締役常務執行役員営業本部
市川 隆一 株式会社サプライチェーン経営研究所 代表取締役
豊増 隆弘 ノーウェアアベニュー株式会社 代表取締役
池田 幸司 社会福祉法人天使園 理事長
後藤 大介 株式会社アイディアシップ 代表取締役
園田 恵一 元SBSロジコム株式会社 取締役専務執行役員

5. 会議に関する事項

理事会

開催日/場所	議事事項	結果
2021/9/8 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2020年度 事業報告及び計算書類並びに定期提出書類』の件 第2号議案 『定時評議員会招集』の件 第3号議案 『役員改選に伴う候補者』の件 第4号議案 『評議員改選に伴う候補者推薦』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
2021/9/27 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『代表理事選定』の件	原案どおり承認可決
2022/1/11 Web 会議	【審議事項】 第1号議案 『主たる事業所移転』の件	原案どおり承認可決
2022/3/2 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2021年度 物流研究助成金支給承認』の件 第2号議案 『2021年度 奨学支援金制度給付承認』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決 原案どおり承認可決
2022/6/27 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2022年度の事業計画および収支予算ならびに資金調達および設備投資の見込みについての承認』の件 【報告事項】 代表理事の職務執行状況の報告	原案どおり承認可決

評議員会

開催日/場所	議事事項	結果
2021/9/27 オリナスタワー	【審議事項】 第1号議案 『2020年度事業報告及び計算書類の承認』の件 第2号議案 『役員選任』の件 第3号議案 『評議員選任』の件 【報告事項】 1) 2022年度「事業計画」および「収支予算」について 2) 定期提出書類提出について 3) 新規事業について	原案どおり承認可決
2022/1/11 臨時 Web 会議	【審議事項】 第1号議案 『定款一部変更』の件	原案どおり承認可決

選考委員会

2021/12/17	奨学支援金制度選考委員会
2022/2/17	物流研究助成選考委員会

6. 内閣府への届け出等に関する事項

- ・2021/9/29 2020 年度 事業報告等の提出
- ・2022/6/29 2022 年度 事業計画等の提出

7. 寄附に関する事項

2020 年度に 寄附金を受けた 財産の額	25,495,000 円	うち個人から	4 名	7,400,000 円
		うち法人から	3 社	18,095,000 円

8. その他事項

・事業所の移転

2022 年 1 月 11 日に東京都墨田区太平四丁目1番3号から東京都新宿区西新宿八丁目17番1号に主たる事務所を移転しました。

<決議> 2022/1/11 臨時理事会

2022/1/11 臨時評議員会 ※本件にかかわる定款「第2条(事務所)」の変更

<登記> 2022/1/21 役員変更登記(東京法務局)

Ⅲ. 会計報告

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 正味財産増減計算書内訳表
4. 財産目録
5. 財務諸表に対する注記および付属明細書

貸借対照表

令和 4 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	316,123	1,714,965	△ 1,398,842
前払金	60,000	60,000	0
流動資産合計	376,123	1,774,965	△ 1,398,842
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	6,308,014	6,308,014	0
基本財産合計	6,308,014	6,308,014	0
(2) 特定資産			
助成・奨学事業積立資産	10,369,229	13,216,645	△ 2,847,416
特定資産合計	10,369,229	13,216,645	△ 2,847,416
(3) その他固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	16,677,243	19,524,659	△ 2,847,416
資産合計	17,053,366	21,299,624	△ 4,246,258
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	2,348	0	2,348
未払費用	295,900	266,913	28,987
流動負債合計	298,248	266,913	31,335
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	298,248	266,913	31,335
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	16,569,229	19,416,645	△ 2,847,416
指定正味財産合計	16,569,229	19,416,645	△ 2,847,416
(うち基本財産への充当額)	6,200,000	6,200,000	0
(うち特定資産への充当額)	10,369,229	13,216,645	△ 2,847,416
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	185,889	1,616,066	△ 1,430,177
一般正味財産	185,889	1,616,066	△ 1,430,177
(うち基本財産への充当額)	108,014	108,014	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	16,755,118	21,032,711	△ 4,277,593
負債及び正味財産合計	17,053,366	21,299,624	△ 4,246,258

正味財産増減計算書

令和 3 年 7 月 1 日 から 令和 4 年 6 月 30 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	190	232	△ 42
基本財産受取利息	190	232	△ 42
受取寄付金	28,342,416	28,001,360	341,056
受取寄付金振替額	28,342,416	28,001,360	341,056
経常収益計	28,342,606	28,001,592	341,014
(2) 経常費用			
事業費	27,842,606	26,001,592	1,841,014
支払助成金	24,800,000	23,600,000	1,200,000
通信運搬費	7,644	22,764	△ 15,120
印刷製本費	576,970	0	576,970
賃借料	277,054	208,603	68,451
諸謝金	30,000	30,000	0
支払手数料	30,338	27,720	2,618
委託費	2,112,000	2,112,000	0
会議費	8,600	505	8,095
管理費	1,930,177	1,789,411	140,766
通信運搬費	47,362	168,520	△ 121,158
印刷製本費	40,360	42,820	△ 2,460
賃借料	69,263	52,151	17,112
租税公課	3,440	2,150	1,290
支払手数料	12,452	11,770	682
委託費	1,697,300	1,452,000	245,300
雑費	60,000	60,000	0
経常費用計	29,772,783	27,791,003	1,981,780
評価損益調整前経常増減額	△ 1,430,177	210,589	△ 1,640,766
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,430,177	210,589	△ 1,640,766
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,430,177	210,589	△ 1,640,766
一般正味財産増減額	△ 1,430,177	210,589	△ 1,640,766
一般正味財産期首残高	1,616,066	1,405,477	210,589
一般正味財産期末残高	185,889	1,616,066	△ 1,430,177
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	25,495,000	25,247,044	247,956
受取寄付金	25,495,000	25,247,044	247,956
一般正味財産への振替額	28,342,416	28,001,360	341,056
当期指定正味財産増減額	△ 2,847,416	△ 2,754,316	△ 93,100
指定正味財産期首残高	19,416,645	22,170,961	△ 2,754,316
指定正味財産期末残高	16,569,229	19,416,645	△ 2,847,416
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	16,755,118	21,032,711	△ 4,277,593

正味財産増減計算書内訳表
令和3年7月1日から令和4年6月30日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	物流研究助成事業	奨学金給付事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	190	190	0	190
基本財産受取利息	0	0	190	190	0	190
受取寄付金	0	10,495,000	17,347,416	27,842,416	500,000	28,342,416
受取寄付金振替額	0	10,495,000	17,347,416	27,842,416	500,000	28,342,416
経常収益計	0	10,495,000	17,347,606	27,842,606	500,000	28,342,606
(2) 経常費用						
事業費	2,564,850	22,885,534	2,392,222	27,842,606	0	27,842,606
支払助成金	2,000,000	22,800,000	0	24,800,000	0	24,800,000
通信運搬費	0	7,644	0	7,644	0	7,644
印刷製本費	563,200	13,770	0	576,970	0	576,970
賃借料	0	0	277,054	277,054	0	277,054
諸謝金	0	30,000	0	30,000	0	30,000
支払手数料	1,650	25,520	3,168	30,338	0	30,338
委託費	0	0	2,112,000	2,112,000	0	2,112,000
会議費	0	8,600	0	8,600	0	8,600
管理費	0	0	0	0	1,930,177	1,930,177
通信運搬費	0	0	0	0	47,362	47,362
印刷製本費	0	0	0	0	40,360	40,360
賃借料	0	0	0	0	69,263	69,263
租税公課	0	0	0	0	3,440	3,440
支払手数料	0	0	0	0	12,452	12,452
委託費	0	0	0	0	1,697,300	1,697,300
雑費	0	0	0	0	60,000	60,000
経常費用計	2,564,850	22,885,534	2,392,222	27,842,606	1,930,177	29,772,783
評価損益調整前経常増減額	△ 2,564,850	△ 12,390,534	14,955,384	0	△ 1,430,177	△ 1,430,177
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,564,850	△ 12,390,534	14,955,384	0	△ 1,430,177	△ 1,430,177
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,564,850	12,390,534	△ 14,955,384	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,430,177	△ 1,430,177
一般正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,430,177	△ 1,430,177
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	1,616,066	1,616,066
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	185,889	185,889
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	10,495,000	14,500,000	24,995,000	500,000	25,495,000
受取寄付金	0	10,495,000	14,500,000	24,995,000	500,000	25,495,000
一般正味財産への振替額	0	10,495,000	17,347,416	27,842,416	500,000	28,342,416
当期指定正味財産増減額	0	0	△ 2,847,416	△ 2,847,416	0	△ 2,847,416
指定正味財産期首残高	6,200,000	0	13,216,645	19,416,645	0	19,416,645
指定正味財産期末残高	6,200,000	0	10,369,229	16,569,229	0	16,569,229
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	6,200,000	0	10,369,229	16,569,229	185,889	16,755,118

財 産 目 録

令和 4 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 現金預金 前払金	手許現金 新生銀行	運転資金として 運転資金として (公財) 助成財団センター年会費	41,946 274,177 60,000
流動資産合計				376,123
(固定資産)	基本財産 特定資産	現金預金 助成・奨学事業積立資産	新生銀行 新生銀行	公益目的保有財産として 公益目的の事業に供する資産
固定資産合計				6,308,014 10,369,229 16,677,243
資産合計				17,053,366
(流動負債)	預り金 未払費用		源泉所得税 税理士法人誠和コンサルティング 他	2,348 295,900
流動負債合計				298,248
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				298,248
正味財産				16,755,118

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	6,308,014			6,308,014
小計	6,308,014			6,308,014
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	13,216,645	10,369,229	13,216,645	10,369,229
小計	13,216,645	10,369,229	13,216,645	10,369,229
合計	19,524,659	10,369,229	13,216,645	16,677,243

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	—
小計	6,308,014	(6,200,000)	(108,014)	—
特定資産				
助成・奨学事業積立資産	10,369,229	(10,369,229)	—	—
小計	10,369,229	(10,369,229)	—	—
合計	16,677,243	(16,569,229)	(108,014)	—

附属明細書

令和 3年 7月 1日から令和 4年 6月30日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

1. 基本財産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

2. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているので作成を省略する。

IV. 監査報告

1. 監査報告書

監 査 報 告 書

公益財団法人SBS鎌田財団

代表理事 鎌田 正彦 様

私監事は、2021年7月1日から2022年6月30日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行いました。

さらに、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等の会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- ①事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2022年9月16日

公益財団法人SBS鎌田財団

監事 藤浦 宏史

